

関西モリッツ ものづくりとインターネットを融合して メーカーの手が届きにくい部分をカバー

治具専門開発の立場で プリンタ稼働率を向上

プリンタ治具の専門メーカーとして2010年に創業された関西モリッツ（大阪市北区天神橋3ノ1-35）では、プリンタの稼働率を飛躍的に向上させるための専用治具を市場に提供し、好評を得ている。

同社は、IT系企業で上場を目指すIPO責任者をしてきた森川博光氏が「これからはインターネットで物を売るだけではなく、ものづくりとインターネットを融合した商売がしてみたい」と考え会社を退職。ある展示会でインクジェットプリンタを自にした時に説明員から「このプリンタは何にでも印刷できる凄いいプリンタです。後はお客さんでいろいろと考えて商品を作ると考えて商品を作ると下さい」という言葉に違和感を覚え、「素材を取り付ける治具を作ったり、プリンタの稼働率を上げる治具専門のつくりとインターネットを融合した商売があるはず」と判断し、「プリンタユーザーが必要な物は何か？失敗しないプリンタの選定はあるのか？」を独学で学ぶ中で、治具専門メーカーの会社を立ち上げた。

プリンタの心臓部とも言える治具は、加工や組み立ての際に部品や工具の作業位置を固定する道具であり、ボールペンやiPhoneケース・ゴルフボールといった立体物を印刷する時に固定する役割を持つ。印刷対象物を固定することで見当性を向上させ、プリンタの稼働率を向上させる道具となっている。

高性能なプリンタが登場しているにも関わらず、印刷をサポートする治具の専門メーカーがなく、プリンタを使う各社が独自に治具を製作していたことから森川社長は、1年足らずでプリンタ治具専門

の事業を始めれば市場にはあるはずと判断し、「プリンタユーザーが必要な物は何か？失敗しないプリンタの選定はあるのか？」を独学で学ぶ中で、治具専門メーカーの会社を立ち上げた。

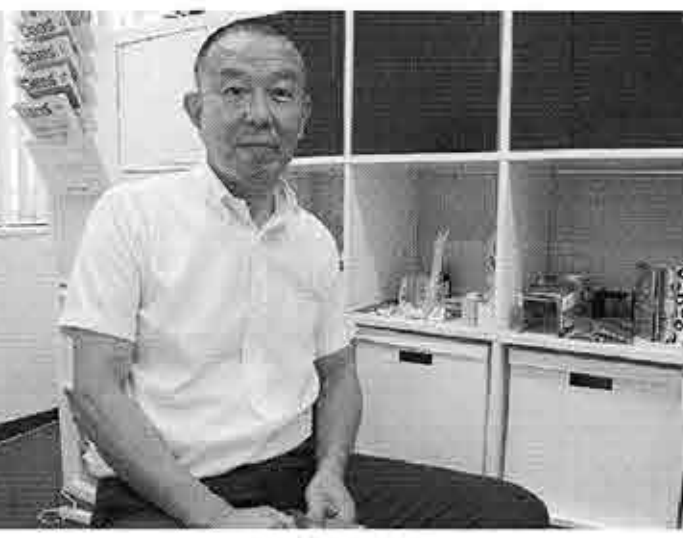
用サイト「ジグメイクドットコム」を立ち上げ、プリンタの購入時や新しい量産品を受注した時に必要とされる治具で困っているユーザーに対して、プリンタ専用治具の提案から設計・製造・販売を一点から請け負っている。

前述の通り、プリンタの種類に関係なく取り付け可能な規格製品をシリーズで販売するほか、多ロットや複雑な形状の商材に対応する治具もオーダーメイドで製作している同社では、近年では鉄・アルミ・樹脂・アクリルなど、幅広い材質に対応し、顧客の要望に応じている。

現在、「ジグメイクドットコム」では、化粧容器・ジーンズボタン・台車・帽子・マイクロメモリーカードなど、さまざまな名入れ商材が印刷されるシーンで必要とされる治具を特注に小ロットから対応を図っている。

「創業以来、プリンタの稼働率を向上させることを使命に印刷業界に特化した治具専門メーカーとして、あらゆる要望に応えられるように努力をしてきた結果、印刷・素材・品質・価格に応じてお好みの治具を製造することが可能となりました」と森川社長は語る。

実際に、これまでに多くのプリンタユーザーへのニーズに合わせた治具を企画・製作してきた同社では、昨年8月に大阪市北区天神橋へ事務所を移転したことを機に、UVプリントビジネスにおける「目からうろこの南森BSAE」を設置。



森川博光社長

これらの経験をもとに同社では、作業の効率化を実現するためにインク剥離を解消する脱脂専用塗面洗浄剤「ダッシュアース」を開発し、プリンタメーカーの手が届きにくい分野を積極的に開拓することで、プリンタメーカーのパートナーとしての役割も担っている。

プリンタ導入前の成功へのサポートを行っている。「UVプリントを使って、どのようなビジネスができるのか知りたかった」とUVプリントビジネスの問題点を知った森川社長は、「おきたい」といった悩み事をはじめ、導入後の「思った以上に届かない」「印刷効率を上げたい」といった課題に耳を傾け、問題解決をサポートしている。

プリンタを販売することはなく、プリンタメーカーとは違った中立的な目線でUVプリントビジネスの確立、

また、工場の省力化をさらに推進し、量産にも対応できるように自動搬送装置を取り付け、無人でも印刷可能な装置の製作を試みるなど、プリンタユーザーの利便性向上につながる製品の開発に力を入れている。

樹脂専用塗面洗浄剤で インク剥離を解消

インク剥離に悩むユーザーの80%が塗面の脱脂洗浄が十分にできていない現状からインクの密着性を向上させるにはプライマーよりも脱脂方法の見直しが先決となるが、「ダッシュアース」を使えばインクの剥離に脱脂対策が図れ、スキルに頼らない最適な脱脂洗浄が実現し、業務の効率化をサポートする。

同製品は、プラスチック素材の中でもスチロール樹脂のような耐溶剤性に対応し、素材の表面を侵すことなく使用できるほか、静電気除去剤を配合することで、脱脂洗浄時の静電気の付着も防止できるようなり、下処理の際のもうひとつの悩みにも配慮されている。

さらに、同社では2012年にベタつき感を改良した万能タイプ（手塗り）の商品化して販売してきたが、ピンポイントに素材に適した樹脂を使用することで、より最適なプライマーに仕上げた新製品としてプリンタで素材に出力する前に素材に塗布するインクジェット出力用のプライマー3種を8月1日より発売した。ガラス・アクリル専用プライマー「トレンナー3」は、

下地が残る部分塗装の際にもタック感を消し、手触りや指紋の付着を防止するもの。タック感がないため、プライマーとしてはもちろん、トップコートとしても利用でき、塗膜をより強固に仕上げる事ができる。

一方、PP専用プライマー「トレンナー4」は、接着が困難なPP・PEなどの接着剤に対応しており、下地処理用として使用できる。さまざまな素材に使用できる「EXトレンナーマルチ」は、特殊合成樹脂塗料で、各種金属からプラスチックまで対応した耐水性および付着性の良い下塗り用クラー。各種上塗塗料に対して優れた付着性があり、ウレタン・ラッカー・フタル酸・焼付メラミン・焼付アクリルなどの下塗りとして使用できるようなっている。

同社では、印刷する素材を送付すれば、その素材に最適な樹脂を選定し、専用のプライマーを試作で作るサービスも今秋ごろ開始する。